

自治体催事の企画概要

※現時点での想定であり、
変更となる場合があります。

香川県の魅力を発信

瀬戸内海や
里地・里山など
豊かで美しい自然

さぬきうどんに
代表される
豊かな食文化

穏やかな風土の中で
独自の発展を遂げてきた
伝統文化

瀬戸内海の島々や
生活に溶け込む
現代アート



国内外からの来場者に向けて、
古・現代・未来の香川県を体感できる演出

古 脈々と受け継がれてきた
魅力の発信
・伝統工芸品、伝統芸能
・瀬戸内の自然と食文化



現代 古を未来につなぐ
取組みの発信
・伝統の承継、現代アートの浸透
・うどん県、それだけじゃない香川県



未来 未来に向けた
新しいチャレンジの発信
・伝統に新たな価値を付加
・健康・共生・共存に向けた新たな
食文化を創出



魅力を知り、体感し、行きたくなる **香川県**

<実施概要>

【会場内施設】
EXPOメッセ

【出展日数】
4日間

令和7年4月30日(水)～5月3日(土・祝)
注:協会からの内定は出ておらず、決定ではない

【催事名称】
未定

(令和6年度に公募で決定)



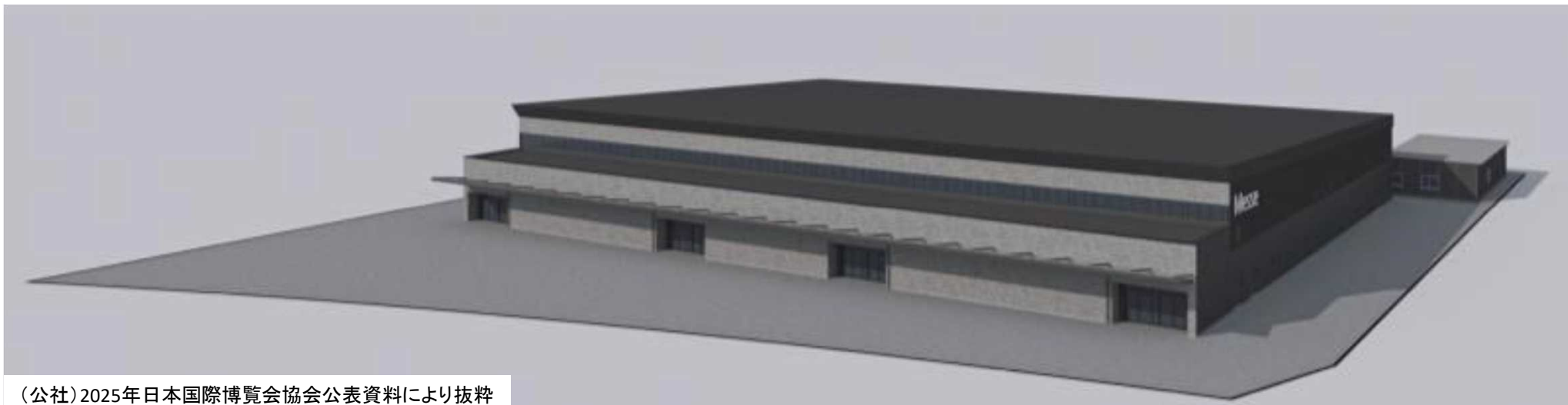
< EXPOメッセ >

【展示面積】
360㎡～600㎡
(2,000㎡を3自治体で分割利用)

【最大収容人員】
1,500人

【施設利用時間】
9時～21時

※現時点の計画であり、今後変更の可能性あり



(公社)2025年日本国際博覧会協会公表資料により抜粋

<実施概要>

【実施イメージ】

香川の魅力をひとくくり！
国内外からの来場者に向け発信！

グルメ
お土産

新たな挑戦

出逢い
交流

万博の理念や
コンセプトを
踏まえて企画

伝統工芸品

さぬきうどん

香川県の強み
観光情報

伝統芸能

県オリジナル
ブランド

アーティストや
クリエイターとの
共創による新感覚
の演出を検討

バーチャル空間を
活用した情報発信
も検討

<情報発信>

日本一小さい県の大きな魅力

香川県 Kagawa Prefecture

「世界の宝石」と称される 瀬戸内海の多島美

日本で初めて国立公園に指定された 瀬戸内海国立公園

全長12,300m 世界一長い鉄道道路併用橋 瀬戸大橋

瀬戸内の島々、人々の生活をつなぐ 穏やかな船旅

おむすび山とため池が点在 讃岐平野の田園風景

著名な芸術家・建築家による アート作品・建築物

アートに彩られた島々への冒険 3年に一度の 瀬戸内国際芸術祭2025

訪れる人々の心を魅了する観光地(栗林公園、金刀比羅宮、丸亀城 等)

「お接待」という習慣を生み、世界でも類を見ない巡礼文化として根付いている 四国遍路



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地
©YAYOI KUSAMA 写真/青地 大輔 ※画像転載不可



< 飲食・物販 >

うどん県の匠の技、食の魅力の発信

○さぬきうどん

滑らかなのどごしと出汁の香りで、のどかな田園風景を体感

- ▷ 匠の技！ うどん打ち実演
- ▷ うどん県の挑戦！
県オリジナルの「さぬきの夢」新品種を使ったさぬきうどんの試食提供
- ▷ 古(いにしえ)のさぬきうどん！
大阪万博が開催された1970年代当時の品種の小麦で作るさぬきうどんの再現



うどん県、それだけじゃない 香川県



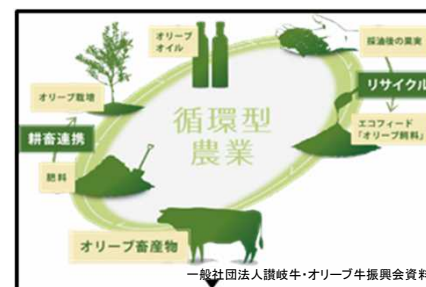
< 飲食・物販 >

うどん県の匠の技、食の魅力の発信

○オリジナルブランドの畜・水産物

品質の高さを実感

- ▶ 世界で認められている肉・魚のうま味！
- ▶ オリーブの採油後の果実「オリーブ飼料」を与えた「オリーブ牛」「オリーブ豚・オリーブ鶏」「オリーブ地鶏」
- ▶ 香川県の海面で養殖されたトラウトサーモン「オリーブサーモン」などの試食提供



○「さぬきマルシェ」in万博

来場者とのFace to Faceの交流

- ▶ 県産食材を使った加工品などを販売する「さぬきマルシェ」を万博会場で再現
- ▶ 県内各地の自慢の品々を来場者に紹介、販売



< 出展予定市町 >

丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町

<パフォーマンス> 地域に根差した伝統芸能の披露

○地域の歴史と心意気をつなぐ 伝統芸能の披露

伝統を受け継ぎ、地域の人々が作り上げる人々が顔を合わせ、地域の絆の再確認する地域の一体感を感じることができる

「香川の祭り」
を万博会場で披露



三木町提供資料

獅子舞(三木町)

「獅子たちの里 三木まんで願。」



綾川町提供資料



滝宮の念仏踊、 綾南の親子獅子舞(綾川町)

滝宮の念仏踊は、菅原道真の伝説が残る古から続く雨乞いの踊り



綾子踊(まんのう町)

弘法大師が伝えたといわれる古から続く雨乞いの踊り

※ 滝宮の念仏踊と綾子踊は、全国各地に伝わる「風流踊」の一つとして、2022年11月にユネスコの無形文化遺産に登録

<パフォーマンス>
伝統文化に新たな演出を加えた表現

○伝統を守りながら新たな魅せ方を探求する **高校生のチャレンジ**

花をいけることを楽しみ、瑞々しい感性と創造性を
花で表現することができる「場」を高校生と共につくりあげる

高校生花いけバトルin大阪・関西万博

- ▶ 「万博記念特別大会」として開催
- ▶ 香川県と大阪府の高校生による競争、共創を実施



「全国高校生花いけバトル」とは、

花をいけたいという想いを何よりも大切に、流派、所属、部活動などすべての枠を超え、高等学校に在学している生徒なら誰でも参加可能

高校生が限られた時間の中、ステージに用意された花材を選び、即興で花をいける香川県が主催し例年全国大会を実施

<パフォーマンス> 伝統工芸品の美・チカラ

○伝統工芸品 展示・実演等

勤勉で研究熱心な住民の性格と地元で産出される特産品が結びつき、
多くの工芸品が生まれてきた香川県

時に大胆な革新を受け入れながら引き継がれ、現代でもその輝きを
失っていない



高松盆栽等(高松市)

200年の歴史を誇り、全国トップ
シェアを占める
今や高松盆栽の評判は海を越えて
世界に届き、欧州やアジア各国から
バイヤーが訪れている



丸亀うちわ等(丸亀市)

日本一の生産量を誇り、1997年
には国の伝統的工芸品に指定
サステイナブルなアイテムとして、
近年再注目されている

東かがわ市提供資料



手袋・革製品等(東かがわ市)

商品の多様さ、品質の高さなどは、世界で
も屈指で、数多くの海外ブランドが手袋製
造を依頼している
ゴルフや野球など、有名プロスポーツ選手
が香川県産の手袋を愛用している

<パフォーマンス> 伝統工芸品の美・チカラ

○伝統工芸品 展示・実演等



香川漆芸

香川県の漆芸は、江戸時代、高松藩主の保護と奨励の下に発展し、幾多の名匠、名工を輩出してきた



香川漆器

1976年に蒔醬(きんま)、存清(ぞんせい)、彫漆(ちょうしつ)、後藤塗、象谷塗の5技法が国の伝統的工芸品の指定を受けた箸や椀などの生活漆器から、高級家具や美術工芸品に至るまで多様な漆器が作られている



○香川県の伝統工芸品のアーティストやクリエイターとの共創による 新感覚の演出・展示、物販等を検討